第153号
発行所
新潟県中魚沼郡
中里村公民館
毎月1回15日
定価 1部 5円

なかさと

私たちの人口

人口	7,017
男	3,949
女	4,068
世帯数	1,714

3月1日現在

新年度予算きまる

一般会計 二億六千七十万一千円
特別会計 一億一千二十九万二千円

昭和四十四年度予算などを決める第一回定例村議会は、去る三月十二日開会され、審議日数八日間にわたって慎重審議し、十九日午前中で全日程を終了し閉会した。

村議会第一日目は、恒例の村長施政方針の説明がおこなわれこの日は村内各地区から百名近い婦人会員の傍聴があり、遠きもらすまいと熱心にメモをとる姿も見られ、村政に対する婦人層の関心のつよさが感じられた。

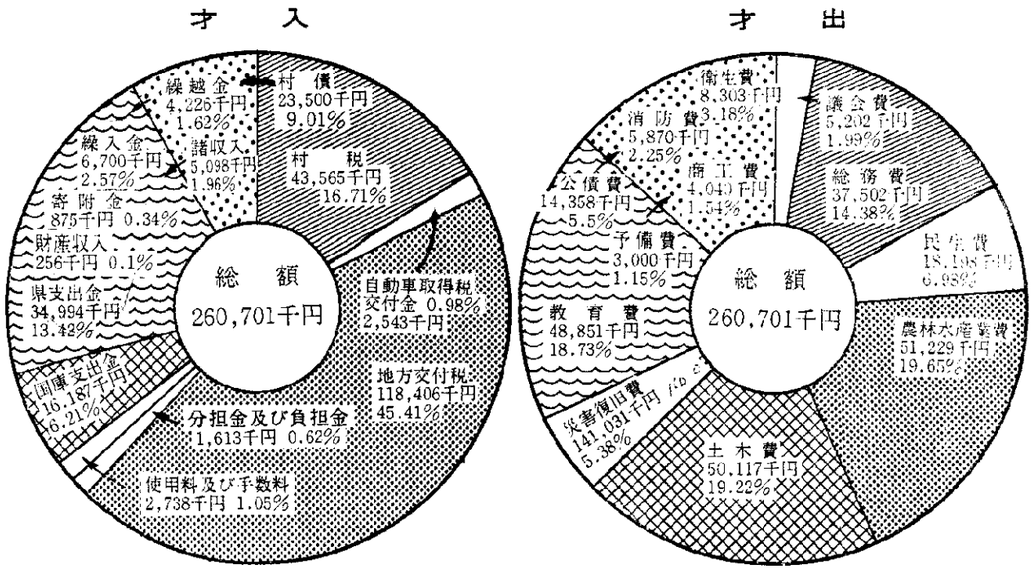
第二日目からは、一般会計才入才出予算（別掲グラフのとおり）をはじめ、国保特別会計、六千九百四十万九千円、簡易水道事業特別会計、二千二百九十八万三千円、農業共済事業特別会計千七百九十万円の才入才出予算を審議し、それぞれ原案どおり決定した。

予算関係のほかは▽中島村税条例の一部改正▽村議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正（議長＝月額一万九千円、副議長＝一万五千円議員＝一万一千円）▽村長、助役収入役に対する給与支給条例の一部改正（村長＝月額九万三千円、助役＝六万五千円、収入役六万円）▽村消防団員の定員任免給与、服務等に関する条例の一部改正▽中里村農業共済条例の一部改正▽辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について▽魚沼スカイライン開発組合の設置について▽湯沢評価会の委員選任について▽村立小中学校教員住宅賃付料徴収条例を改正▽県消防団員等公務災害補償約の改正などが審議され、また請願書審査報告では▽請願者、新潟県労働金庫理事長、斉藤和彦「新潟県労働金庫に金三十万円也を預託される請願」採択▽請願者、吉澤実太郎「失業保険制度の改悪に反対する請願」不採択▽請願者、吉澤実太郎「医療保険制度の抜本的改悪に反対する請願」不採択。

請願においては、桂、藤原区長、小原区長、田沢本村区長「桂、藤原、小原線並びに田沢本村に通ずる村道改良工事について」建設委員会付託、請願者倉庫、雑貨共同飼育所、建設費中里村農業協同組合「低温農業村費助成について」農業経済委員会付託、などがあった。

【写真は議会のようすと婦人会員の傍聴】

昭和44年度 中里村一般会計予算各款構成比



運命を愛し 運命を開拓

斉藤大馨

人間の運命ほどふしぎなものはない。どこの国に生まれたかによって、人生航路は一変するアフリカのジャングルのなかに生れた赤ちゃんと、ニューヨークのそれとを考えると、ふしぎに思えてならない。

同じ日本でも生まれながらにして、貧富の差別がある。健康なものもおれば、からだの弱いものもいる。なかには両手四足の不自由なものもいる。あたまのよいもの、悪いものなど千差万別である。考えれば考えるほど、こんな不公平なことはない。

貧乏人の親から生まれてこなければよかった、といくら歎いても嘆んでも、こればかりはどうにもならぬ。青少年の不良化が社会問題になっているが、その多くは親が悪い。社会が悪いと、他人のせいに一切をなすりつけている。

これでは不平不満とグチに明けくれ、みずから墓穴を掘ることになる。どうにもならぬものはどうにもならぬとあきらめて、運命を愛し運命と一体になって、運命を開拓してゆくことである。「人生の価値は、来所ってきまる」と、釈尊は教えている。

貧しい孤児を収容して、立派に育てあげたペスタロッチは「隠者の夕暮」で「王座の上にあっても、木の葉の屋根のかげに住っても人間、その本質から見た人間、その本質は何であるか」といっている。外面はどうあろうと、本質的には全人類は平等だというのだ。

これを東洋的な表現をもってすれば「富貴も蛭するあたわず四天も恋を奪うべからず」になる。東西軌を一にして「一如」にふれると「そも彼は何であるか」の天上天下唯我独尊にならざるを得ない。

よい家柄に生まれたところで努力精進しなければ福徳はつきる。富豪の家に生まれたところで、それに流されていたら、身をほろぼす。貧乏人の家に生まれても、それを切り開いてゆくところに、人間の値打ちが出てくる。それにいま与えられた場で、随所に主となって最善をつくすことだ。太閤秀吉も、はじめから太閤ではなかった。そうりとりとしてのときには、そうりとりとして、ベストをつくしている。ここで大切なことは、与えられた現実の場の意味を、どういただき、どう意味づけてゆくかにある。

存在には必ず理由がある。世の中に理由なくして、存在しているものは一つもない。存在の奥には、存在させているものがある。存在の現象面にのみとらわれないで、もう一つ奥にある「玄旨」を発見したい。そうすれば、おのずから力強い人生観も確立される。

自分のやっているいまの仕事も自分の選んだものではあるが、選んだままに選ばれていることがわかる。これがいうところの玄旨である。天職の使命観をもってベストをつくそう。そこに洋々たる人生が開かれる。

田中部落の起源については確たる証拠もないが、部落の中央に位置する飯訪神社が近く九百年を迎えようとしている。その周囲に高くそびえ立ち、部落を守り通して来た老杉の、樹令の古さからも歴史が偲ばれる。その鎮守に寄り添うようにして珍妙な形の石像が立っている。

古老の曰くに、これぞ婦人病と安産の守り神として、ごく最近まで他村からも、多くの来拝者を招いていたと言う。遠く部落に悪病が蔓延したる時、石神の前にうかがいをたてたる処「当主女神なるが故に」とのお告げあり、準南の山奥より男神をゆずりうけ、隣に安置してより、悪病たちまち亜癒したりと云う霊験あらたかなる言い伝いあり。

御希望の方は通行の折御参拝下さい。

かっての善行寺街道と現国道との間に位置し、田沢の中心地であり、役場、信用組合等の所在地でもあったと言う。

＜部落紹介＞ ⑨ 田中部落

約半世紀程前までは、十戸余りで風雪の封建社会を生き抜いて来たと言う。古代には信濃川の河床とも言われる肥沃な土地も、大正末期から鉄道工明に資するため、耕地の大半を提供し、且つ積極的な応援を惜しまなかったことが今日中里村における交通網の中心地を育てた原動力となった。

駅を下りるとすぐ「環境衛生推進モデル地区」の標示板が目につく。他部落のどより条件の悪い中で、部落民全員協力して数ヶ年続けている清掃運動が効をなし、行き届いた衛生観念がのぞかれる。また昨年まで百数十年の間無火災の地として他に類のないことも自慢の一つであった。

「ゆりかごから墓場まで」ほとんどすべての施設を備えている当地は昭和の初めから組頭のときは組頭として最善をつくした。

生れつき頭のよいものはともすると自分の力を過信して、ハナつまみものになりやすい。おの脳の悪いものも努力すれば、別の意味でカンの利く秀才になれる。からだの不自由なものでも両足両手のない中村久子さんのように身体障害者のために、生きぬく勇気を与えることもできる人生にぬきづまりはない。ただ創造の一途あるのみ。意味は発見するものうえに輝くーと老作家の石丸梧平氏はいっている。

すでに戸数、人口とも三倍強を記録し、且つ年々三～四戸の転入を迎え入れている。その職業も千差万別、すべて環境の違う者同志が、多い中にまず友和第一主義に事を改め他に指摘される何物もなく、着々と部落の発展を徒としてひいては村の発展に寄与して行こうとする気風にみなぎっていることは、他の範となって嬉しぶべきことである。

段丘地の売工も近く、十二線の開通、各地観光発展等と相まって、交通網の起点として、或いは中里の中心地として、友和の気風の中心地として、益々発展が期待されよう。

T・T生

人生往来

◎産声

子の名	父の名	部落名
服部 好位	龍一	如来寺
中島 剛	豊作	本屋敷
南雲かおる	仁	本屋敷
鈴木 浮次	辰雄	重地
瀬切 増雄	輝一	寺沢
滝沢 正樹	金治	田中
清滝 洋一	庸夫	東田尻

◎昇天

氏名	年令	部落名
高橋 昭良	(四一)	宮中
南雲 ナカ	(七七)	南雲
南雲 基	(三三)	堀之内
井之川 濱	(八七)	堀之内
鈴木 ツマ	(六三)	荒屋
藤ノ木七蔵郎	(六〇)	重地
南雲ヨシイ	(五二)	小出
滝沢 マツ	(六七)	堀之内
重地		

（三面より続く）

しずか夜や茶落に凍を叩く音　シン
特選　露丘
麦五寸影が近づく夜動明け　正仙
雛の空またベトナムへジェット
朝もやを分けて滑らす堆肥橋　えつお
特選
雪壁が厚い母村の峠越す　栄山
電話もつ果報を語るこたつかな　涼子
ついつい寒の雨徳冠はびこらせ　海人
火事納まり木々へたゆらい勝ちな
残雪や土の匂いのする日向　玉泉
特選
子の受験遠く祈れば森晴るる　拾蔵
春光を浴び黙々と受験の子　土牛
夜のテレビドラマ果てれば遠雷　未知
崩
フリーシャに話かけたくて居間の春　春柳
春日和バス待つ在の主婦の旅　喜美
スキーの子待つ食卓に菓子も添え　由記
受験子と雪の再訪みる眞郷
つらら融け落ちる数分主婦殿う　峰月
特選
争いし憤懣暗く雪を踏む　おのえ
氷柱落つ音ひとつずつ春隣り
意識し眠る夜の林へ風張り　加寿子
春の闇背に弁焼く夫居ぬ間

昭和四十四年度 施政方針について

中里村長 高橋幸作

私は、いつも申しあげているように、住民の産業生産に直接つながる問題の解決と、民生安定、生活向上を求めることが、最大の施政の課題であるとおもいます。このことは、村民のだれもが理想としているところでより豊かな、住みよい村にしていくために、努力を惜まず、一路邁進したいとおもっております。

これが実現にはどうあるべきか。まず中里村の産業振興の方向として、豪雪その他の立地条件から、農業開発こそ今後残された大きな希望であります。しかし一方、米の問題は各方面において論議され、米生産農家に複雑な波紋をなげかけ、動揺させ関心を強めていることも事実でありますが、私が直接関係各省を訪ねて聞き及んだ段階では新規開発地区、または減反可能な地区において、二割程度の減反または畑作への転換という強い意向が感じられましたが、しかし、このことは必ずしも全国一律的なものではなく、適地適作ということが基本でありまして、当地方としては立地条件からして米作こそが適作というべきで、将来も絶対心配のない作目で、一層合理的な経営を確立すべきだと強く認識してまいりました。このような情勢の中で中里村においては、清津川右岸段丘地開拓パイロット事業が三年目を迎え、当初計画通りに進捗しており、減反、工期延長等の心配は全くありません。今年度国費予算も三億円がすでに決定しており さらに上積みを交渉中であります。しかし一方、その中において村内に誤まれる噂さがあり、この事業が中止になるとか、また、減反されるとか、住民の気持を混乱に落し入れやすい発言もあるやに聞いているが、絶対にそのようなことはあり得ないのであって、農業開発としてこれが事業の推進こそ、当面の最大の仕事であってこれが開田後の経営の方針等の決定については一段と大事なことだけに、万全を期して方向づけに対処したいと思います。

次に農業の基盤整備事業を推進し、生産性の向上をはかりたい。すでに貝野地区、倉俣地区において数ヵ所計画があり、大きな期待がもたれています。また施行中の市之越地区構造改善事業においては二年目を迎え、あらゆる困難を克服し、着々推進しているが、なお幾多の難しい問題と遭遇しながらも、万難を排して成功させねばならない事業であって、再認識の上に立って指導協力し、物心両面の応援こそ大切なことであると確信し、一段と強力な推進を惜まないものであります。機械設備の問題についても過大投資の域を越えないよう充分検討すべきは当然のことで、農道の整備、共同利用、協業事業等を推進し、農業経営の効果を上げることを念願するものであります。

上山農免道路新設については、現在農林省で査定調査中であるが、これは舗装前提の計画であります。一般農道の新設整備については、清田山、重地その他の地域について予定個所の実現に努力したい。なお、農道舗装については今年度はじめて二百万円を計上し、急勾配ケ所、軟弱道路舗装のための補助金を出したい。治山関係事業は計画予定されている個所は全部、継続実施ケ所も一応決定しています。しかしながら、今年一番関心をもっていた貸付牛については、その後の運営上の整備が間に合わないため 実施できなかったことは残念であります。

現在総合農業ということばは別段新しいことではないが、やはり畜産その他を取り入れて、合理的省力的農業経営を確立してもらいたい。そこで旧来の農用地はより効率的な農業生産基盤に改良し、さらに新しい農用地開発については現在調査進行中の苗場山麓大規模総合パイロット事業に大きな期待をかけたい。これが目的はいうまでもなく、山間地農業のパイロットとして、地域内に大型農業を開発し、土着性のある豊かな農村社会の建設にあり、水稲プラス酪農、及び果樹、蔬菜その他を複合経営として、四十七年から着手しようとする大規模開発事業で、基本計画のための調査は本年で二年目をむかえ、千五百万円の調査費がすでに決定している。中里村の立場としては、国有地について長野、前橋両営林局、大日町、飯山両営林署との交渉を、県農地部、農林部とも緊密な連携を保ちながら進めている。両営林局において調査了解ができた際は、このパイロット事業こそは、中里村の農用地開発の総仕上げともいうべきもので、後顧に憂いを残さぬよう綿密にして、最胆かつ真剣にこれと取り組む覚悟であります。

次に道路橋梁建設関係については、村単独事業として主なものは村道において継続三ケ所、小橋架替その他で、近く予定線を確定し、年次計画にしたがって将来充分活用できる村道を整備したい。なお村道小出線万年橋架替工事については、今年実施できるよう現在建設省に対し、強力に働きかけを行なっています。交通は文化の先達であり、これが整備については住民だれもが切望しており、私も心を痛めているが、これが推進については最大の努力を傾注したい。現在において県道高田松之山六日町線の早期完成はかねてからの悲願であり、昨年隧道工法が変更され、中里村側からの着工がみとめられ、本年度いよいよ着工の運びとなっている。山崎〜倖沢間の改良改修については、曲部改良工事、凍雪害防止工事として進められ、十二線開通と合わせて道路舗装も具体化される見通しになっています。宮中橋新設については、本年度新潟県内の長大橋四本の予算要求のうち、新設は宮中橋だけであって、非常に困難な情況にあるが、本年度は必ず着工されるものと強く期待しています。県道田代線、同羽倉十日町線の改良については年々増額されているが、今後一層これが整備に努力したい。また田沢駅周辺の水害の原因となっている堀之川改修工事は、総工費八千万円を下らない事業費で今年度から着工の運びになっています。国道改良工事ついては芋沢地内を四月下旬までに完了し、田沢本村、如来寺地内についても本年度着工の意向であると六日町国道事務所では言っておりこれを信頼し一層促進していきたい。

次に教育の面については、義務教育は機会均等が基本的であって、施設々備、教材その他を教育効果にどのように影響するかを充分研究して投資したい。教育は次の世代をになう大事な人づくりであるが、限りある財源の中ではとても満足のいくような条件整備は容易でない。他市町村を見てもPTA、父兄会後援会などの協力で設備や教材が整備されていると見聞するがこれはかならずしもよいとは思わない。とにかく財源を求め、年次的に整備充実していきたい。今年度は倉俣中学校のステージ、同校グラウンドの整備、貝野小中学校教員住宅の整備等を予定している。

次に観光開発についてはいまだ語り得る段階ではないが、先述のごとく苗場山麓パイロット事業と関連して、大きくクローズアップされてくる。十二線の開通、魚沼スカイラインの構想とも関連して、中里村の大きな観光資源の眠りをさまし、観光中里村も現実のものとしてうきぼりされてくるとおもう。

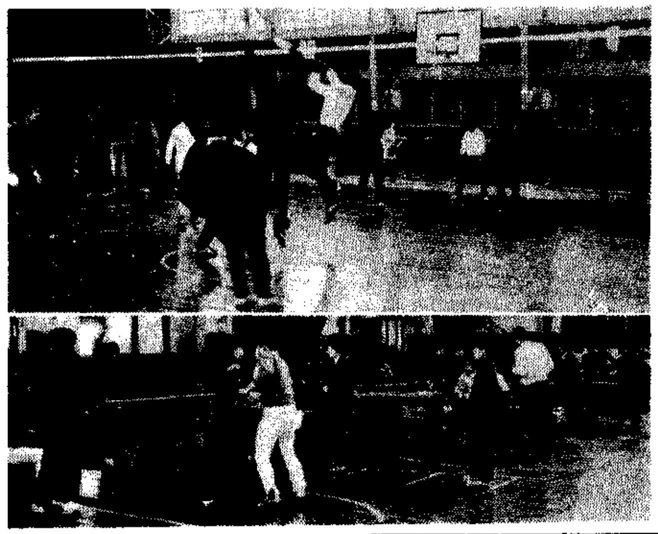
商工業振興については、現在の諸般の情況から新しい工場等の建設は予測されないので、現在の企業の発展方策について協議し、これが振興をはかりたい。商業の発展については、なんといっても購売力の増強が大事で、農村であるからこれが振興が商業の発展に連なるものであり、他地域より一層よい商品をより安く需要者に供給できる条件整備に力をいれたい。これが方法等については、商工会のあり方を充分理解し、振興をはかりたいとおもっています。

次に社会厚生面については、住民の健康を確保し、青少年の健全育成と明るい村づくりを重点とする大事な分野で、きめこまかな施策が必要とおもっています。へき地保育所を高道山地区に新設し、地域住民の完全勤労と幼児保育を充実したい。出機や出稼ぎ問題については、実態を充分にとらえ、適切な対策をたてていきたい。人口減少の問題については、いつも心配していることであるが、一つの啓蒙として多産者援助を考えています。

国保事業については、医療保険制度改革試案が発表されて三年目、国保制度刷新強化の運動

(三面へ続く)

村民球技大会 盛大に行なわる



去る三月九日、田沢中体育館において村民卓球、籠球大会が盛大に行なわれた。この大会を開催することによって、スポーツ振興をはかり、村民の健康増進と親睦を深めるという趣旨のもとに行なわれたものである。

卓球においては、団体戦十チーム、籠球は七チームも参加してその試合だけに三時過ぎまで接戦がくり返さ、、籠球の部においては役場、山根、保削、実業高OB、田沢中OB、田沢中A、Bの各チームによって試合が展開され日頃の練習量にものをいわせ一位、三位ヶ田沢中A、Bチームが獲得した。なお試合成績は次のとおり。

◎卓球の部

①団体戦
一位 好卓チーム(体育協会)
二位 中里村役場Aチーム
三位 田沢中Aチーム

②一般男子個人戦
一位 樋口 亀寿(田中)
二位 吉楽 高義(宮中)
三位 樋口 利治(山崎)

③一般女子個人戦
一位 井ノ川はつよ(山崎)
二位 川田 セツ(芋沢)
三位 富井ミサ子(芋沢)

④中学生個人男子
一位 石沢 満(荒屋)
二位 石沢 孝夫(田沢)
三位 村山 元春(田沢)

⑤中学生個人女子
一位 南雲 豊子(程島)
二位 服部美也子(荒屋)
三位 南雲 敏江(程島)
石沢恵美子(荒屋)

◎籠球の部
一位 田沢中Aチーム
二位 田沢中OBチーム
三位 田沢中Bチーム

また三月十八日には村民排球大会が実施され、七チームによって優勝があらそわれたが、各チームともに練習量豊富なだけにとりつとられつの接戦がおこなわれ三時過ぎ終了した。成績は次のとおり。

一位 保削チーム
二位 青年会排球チーム
三位 高校生チーム

軽自動車税について

◇廃車申告を忘れずに◇

軽自動車税は、毎年四月一日現在で軽自動車の所有者に課税しています。ところが納税通知書を受け取ってから「私は現在バイクを持っていない」と申し出る方が相当数あります。これ等の人は最近バイク等を他人にゆずり、又は廃車していながらその申告をおこたった人であります。今年も後にわずかで納税通知書が発送されますので、充分注意し、廃車申告等は少なくとも三月中に必ず行うようお願い致します。

農地・未墾地取得

資金借り入れ一部改正

昭和四十三年十一月二十日付四十三農地B第四〇三九、四〇四〇号にて借入申込者の取扱い要綱、事務処理要綱が改正になりましたのでお知らせ致します

◎主なる改正点

〔1〕認定の要件

①申請者が取得する農地を含めその地域平均経営面積以上(中里村においては、昭和四十四年二月二十六日開催の第二十三回中里村農業委員会において、八反三畝)でなければならない。但し申請者の農業所得が、その地域(市町村)の平均農業所得以上であれば良い。

◎申請者の借入申込前、三年間に農地の移動がないこと。

〔2〕貸付条件

①貸付最高額

・個人にあっては農地取得資金二百万円、未墾地取得資金百万円

・法人にあっては同一世帯をのぞき農地取得資金八百万円未墾地取得資金四百万円

②貸付金の上限基準価格

田〜十アール当り 六十五万円
畑〜 〃 四十五万円
未墾地〜 〃 十二万円

以上のように改正になりました。なお不明の点や詳細については農業委員会事務局へお尋ね下さい。

みんなで加入しよう

一日一円で交通災害共済

昨年九月一日から、県下の市町村で、交通災害共済組合をつくりましたが、この共済組合はみなさんが、万一にも交通事故による災害を受けたとき、わずかの掛け金で相互救済を行なおうとするものです。交通事故は、もはや私たちの身辺につきまとっているといえます。一人でも多くこの組合に加入して、不慮の事故にそなえましょう。

◎共済加入者の資格

加入申し込みのときにおいて中里村区域内に住所を有している者となっています。加入後他の市町村に住所を移しても資格は失なわれません。

◎共済期間

毎年四月一日にはじまり翌年の三月三十一日に終ることになっております。途中加入もできます。

◎会費

共済加入者一人につき一年に三百六十円(中学生以下は三百円)

◎共済見舞金

▽死亡した場合 五十万円
▽全治六ヵ月以上の傷害を受けた場合 十万円
▽全治三ヵ月以上の傷害を受けた場合 五万円
▽全治一ヵ月以上の傷害を受けた場合 二万円
▽全治一週間以上の傷害を受けた場合 五千円

なおくわしいことは、さきに配布いたしましたチラシに書いてありますが、わからない点がありましたら役場の行政課にお問い合わせ下さい。

(二面より続く)

が、関係団体、県、市町村一体となって積極的に進められており、当村においてもより一層、国保財政の安定と充実をはかりたい。

そのほか、水道事業において貝野地区に新規設置の計画があり、これにより中里村の水道普及率は八十%以上になります。

農業共済事業については、水稲、養蚕の共済金額を若干引上げたが、より一層農家に親しまれる共済事業にしたいとおもいます。

以上予算編成にあたり施政について所信の一端を述べたが、中里村の将来を考えるとき、後顧に憂いをのこさないよう、基盤づくりに万全を期したいとおもいます。村議会はじめ、村民各位の特段のご指導とご協力をお願い申し上げます。

中里文芸

—三月投句—

特選 閏一

雛祭り待つチケットの貼り合せ

しあわせな家庭生活の一コマ親子の対話がつたわってくる

特選 大泉

夜の雪崩遠く戦の傷疼く

ふと一瞬、悲惨な戦場の過去が甦った。それは夜半の雪崩が胸を揺するからだ。

時習

梅の香をこぼす雫や庭の池

(四面へ続く)